



IR(赤外線)カットフィルム

取付要領書

品 番

IR (赤外線) カットフィルム 1台分 (スモーク)	※ 1	08230-76070
IR (赤外線) カットフィルム 1台分 (ダークスモーク)	※ 2	08230-76080
IR (赤外線) カットフィルム 1台分 (スモーク)	カメラ用	※ 3 08230-76090
IR (赤外線) カットフィルム 1台分 (ダークスモーク)		※ 4 08230-76100

構成部品

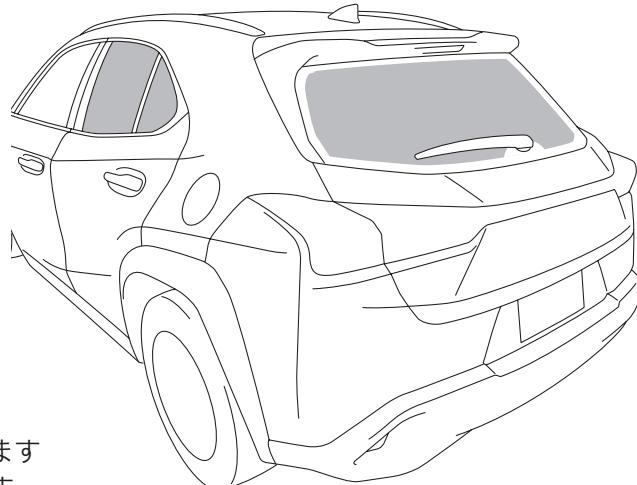
No.	品 名	補給品番	個数
1	リヤドア ウインドウ フィルム (スモーク)	RH 08230-76071 LH 08230-76072	1 1
	バックドアウインドウ フィルム (スモーク)	08230-76073 (※1) 08230-76093 (※3)	1
3	リヤドア ウインドウ フィルム (ダークスモーク)	RH 08230-76081 LH 08230-76082	1 1
	バックドアウインドウ フィルム (ダークスモーク)	08230-76083 (※2) 08230-76103 (※4)	1

※イラスト内の○は識別位置、[]は識別形状を示しています。

取り付けに必要な工具等

一般工具、スキージー（樹脂製）、スプレー容器、中性洗剤（推奨）、水道水、スケール、マスカーラ、マスキングテープ、保護テープ、ビニールシート、クリップリムーバー、ペーパーウエス、柔らかい布、ボードまたは机

取付概要



- 図と実際の車両は異なります
- 図はカメラ非装着車を示す

HBFV005F

取り付け上の注意事項

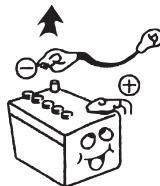
この取付要領書では安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています

- △ 注意 … 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を破損する等の恐れがあることを記載しています
☞ アドバイス … スピーディーに作業をしていただく上で知っておいていただきたいことを記載しています

- 車を水平な場所に停車してパーキングブレーキを引き、輪止めを確実に行ってください。
- 下回り作業中は安全に配慮し、エンジン始動及び乗車は絶対しないでください。
- 車両部品の取りはずしに際しては、タッピング・スクリューやボルト、ナット類を紛失しないよう部品毎に整理し、復元作業時には間違いのないよう配慮してください。また、車両及び取りはずした部品に傷を付けないよう取り扱いには充分注意してください。
- バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。※車両システムの初期化には、GTS 等のツールが必要な場合があります。

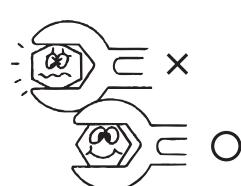
取り付ける前に

- バッテリーの(-)側ケーブルをはずす



部品の取り付けは

- 寸法に合った工具を使う



- 裏側に注意し、ハーネス噛み込みに注意する



作業時は

ゴミ・ホコリの侵入防止の為に

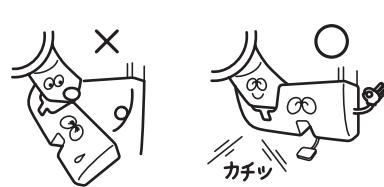
- ガラス両面の汚れを清掃する
- フィルムに施工液をたっぷりかける
- 風等の無い場所で作業する
- 作業場、作業台を掃除してから作業する

車両電子部品の故障防止のために

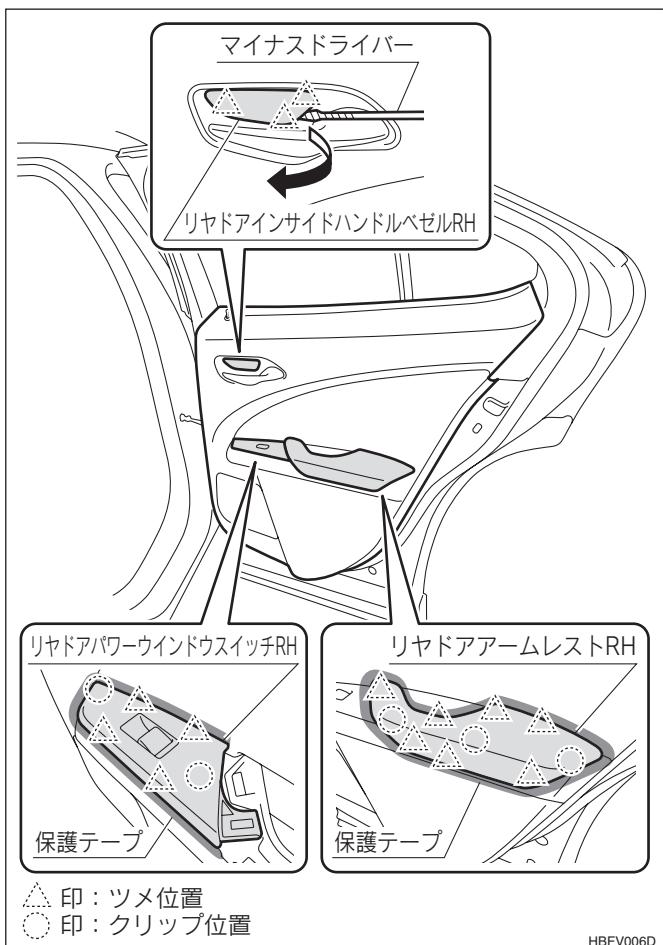
- マスカーラ等で電子部品への水掛け防止を行う

取り付け完了後は

- 車両部品は確実に復元



車両部品の脱着要領

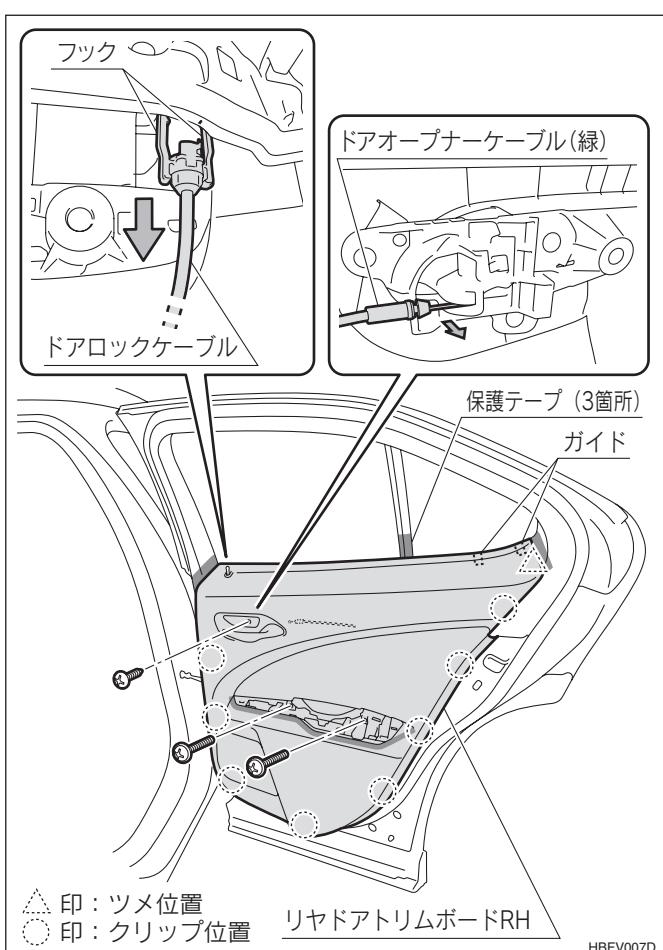


取り付け前の準備

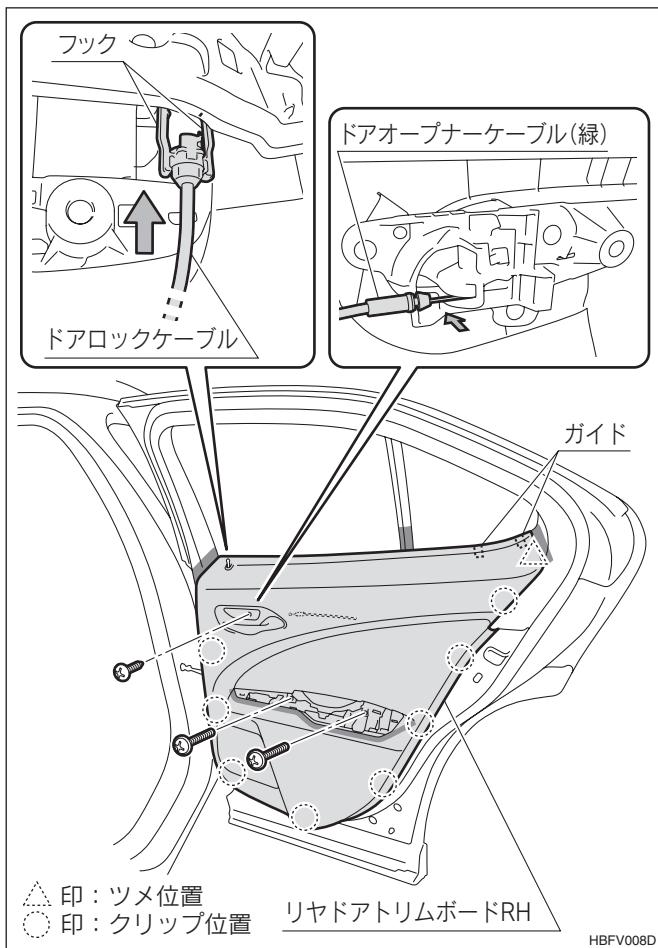
- リヤドアガラス、各 RH・LH とバックドアガラスの車両外側を清掃する。
- リヤドアガラスを完全に閉めた状態から、約 20mm 下げる。(RH、LH 共)
- バックドアを開ける。
- バッテリーの (-) 側ケーブルをはずす。

リヤドアトリムボードの取りはずし
(図は RH 側を示す。LH 側も同様に作業してください。)

- 保護テープを巻いたマイナスドライバーを使用して、ツメ (3箇所) の嵌合をはずし、リヤドアインサイドハンドルベゼル RH を取りはずす。
- 保護テープを貼り付ける。
- クリップ (3箇所) 及びツメ (7箇所) の嵌合をはずし、リヤドアアームレスト RH を取りはずす。
- クリップ (2箇所) 及びツメ (4箇所) の嵌合をはずし、リヤドアパワーウィンドウスイッチ RH を取りはずす。



- 保護テープを貼り付ける。
- スクリュー (3本) をはずす。
- クリップ (8箇所) 及びツメ (1箇所) の嵌合をはずし、リヤドアトリムボード RH を取りはずす。
- 図に従い、リヤドアトリムボード RH 裏から、ドアオーブナーケーブル (緑) を取りはずす。
- 図に従い、ドアロックケーブルの左右のツマミを押し、フック (2箇所) の嵌合をはずす。
- ドアロックケーブルを矢印方向に取りはずす。

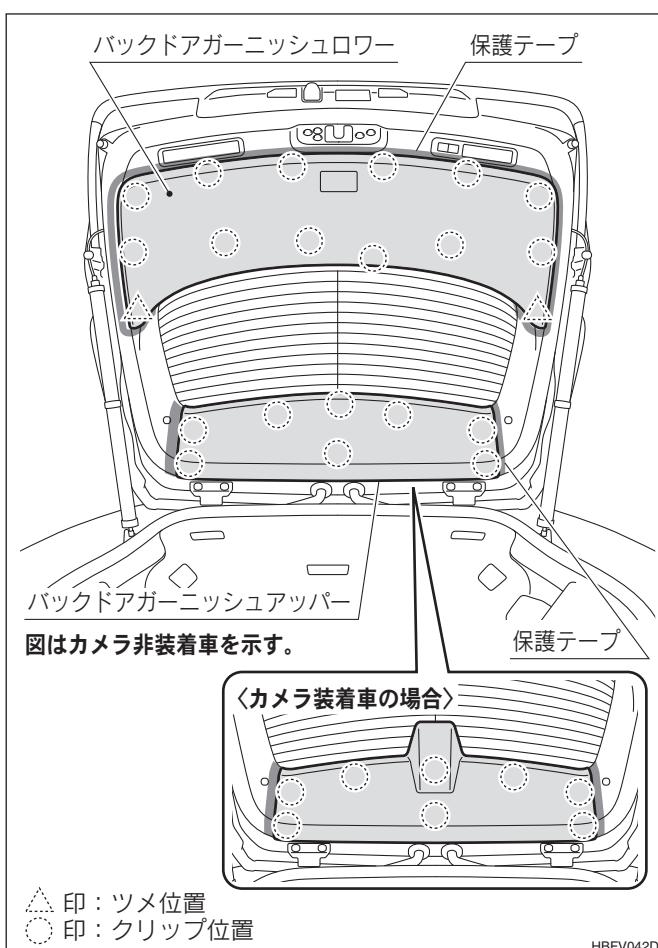


リヤドアトリムボードの復元手順 (図はRH側を示す。LH側も同様に作業してください。)

△注意

下記復元手順に従って復元を行わないと、リヤドアトリムボードRHを破損する恐れがあります。
充分注意して作業を行ってください。

1. フック (2箇所) を嵌合させ、ドアロックケーブルを矢印方向に取り付ける。
2. リヤドアトリムボードRH裏に、ドアオープナーケーブル(緑)を取り付ける。
3. クリップ (8箇所) 及びツメ (1箇所) を嵌合させ、リヤドアトリムボードRHを取り付ける。
4. スクリュー (3本) を取り付ける。
5. リヤドアパワーウィンドウスイッチRH、リヤドアアームレストRH及びリヤドアインサイドハンドルベゼルRHを取り付ける。



バックドアガーニッシュの取りはずし

1. 保護テープを貼り付ける。

2. クリップ (8箇所) の嵌合をはずし、バックドアガーニッシュアッパーを取りはずす。

○アドバイス

カメラ装着車も同様に作業を行ってください。

3. クリップ (12箇所) 及びツメ (2箇所) の嵌合をはずし、バックドアガーニッシュロワーを取りはずす。

△注意

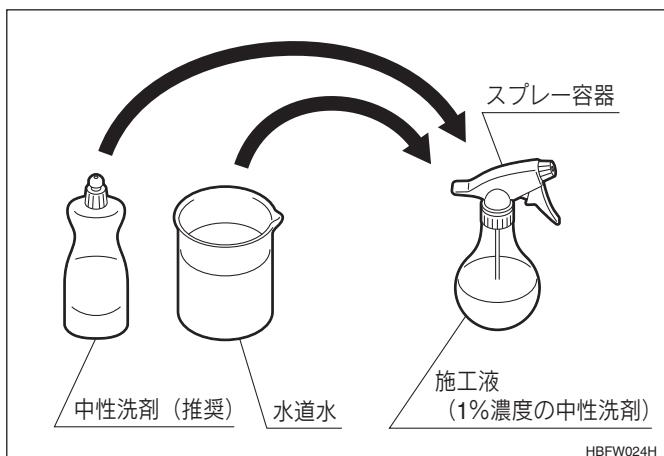
クリップが車両ボディー側に残った場合は、車両ボディーからクリップを取りはずし、バックドアガーニッシュに取り付けてから復元してください。

4. 施工液が電子機器やコネクターに飛散・付着しないようマスカート等でバックドアガーニッシュを外した部位のバックドアを覆う。

△注意

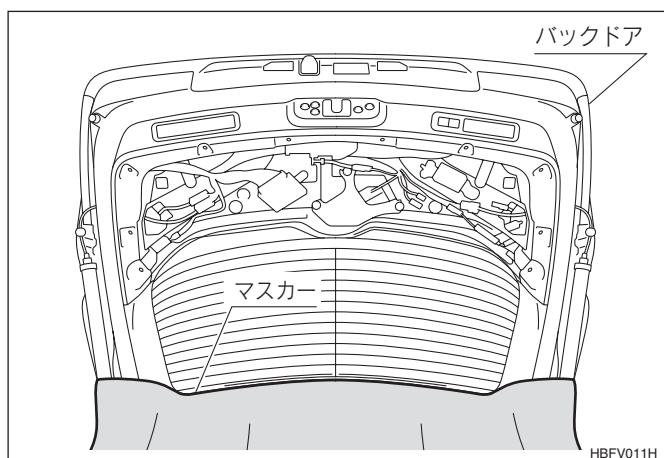
施工液が電子機器に付着すると機器の破損に繋がります。

取付作業



施工液の準備

中性洗剤（推奨）を水道水で1%濃度に薄める。

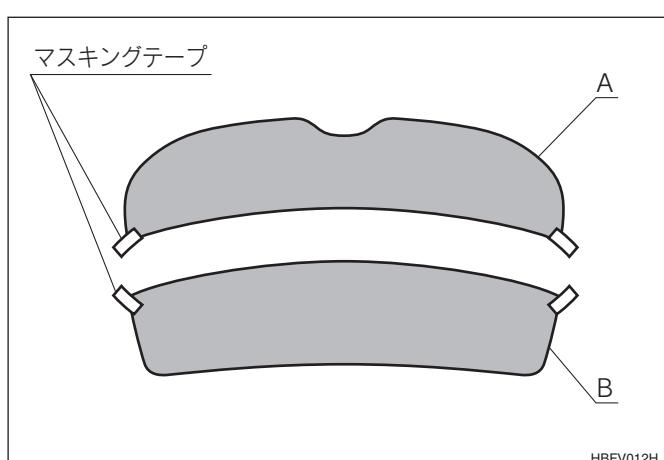


バックドアウインドウフィルムの貼り付け前の準備

施工液が車室内に垂れるのを防ぐ為に、マスカー等でバックドア下部を覆う。

△ 注意

カメラ装着車はカメラ部分に施工液がかからないようマスカー等で保護してください。
施工液が電子機器に付着すると機器の破損に繋がります。



バックドアウインドウフィルムの取り付け

👉 アドバイス

図は、カメラ非装着車を示します。カメラ装着車も同様に作業を行ってください。

1. バックドアウインドウフィルムのA、Bを区別する。
2. バックドアウインドウフィルムA、B角部の表裏両面にマスキングテープを貼り付ける。

👉 アドバイス

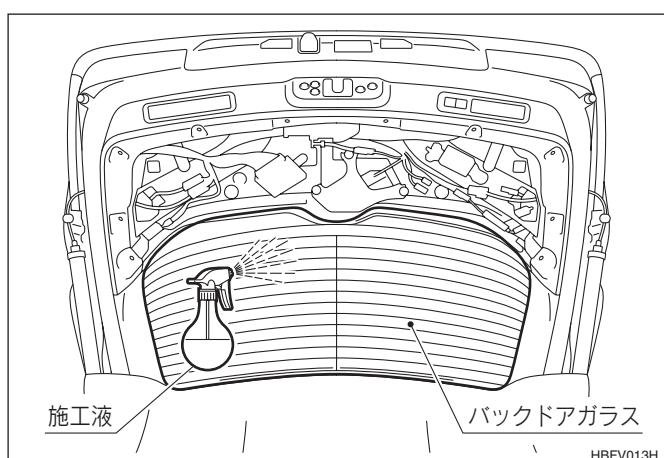
フィルムAから取り付けます。

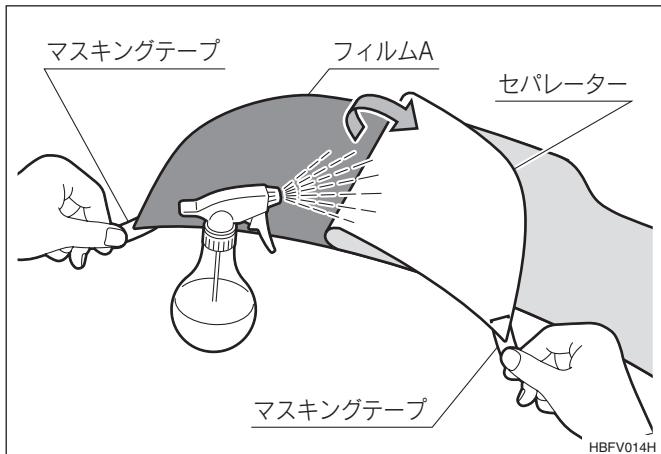
3. バックドアガラス室内側全面に施工液をたっぷりスプレーし、ガラスを清掃する。

👉 アドバイス

- (1) 施工液が車室内に垂れても大丈夫なように、ビニールシート等でカバーをしてください。
- (2) フィルム内側への混入を防ぐ為に、ゴミやホコリを完全に除去してください。

4. バックドアガラス室内側全面に、再度施工液をスプレーする。

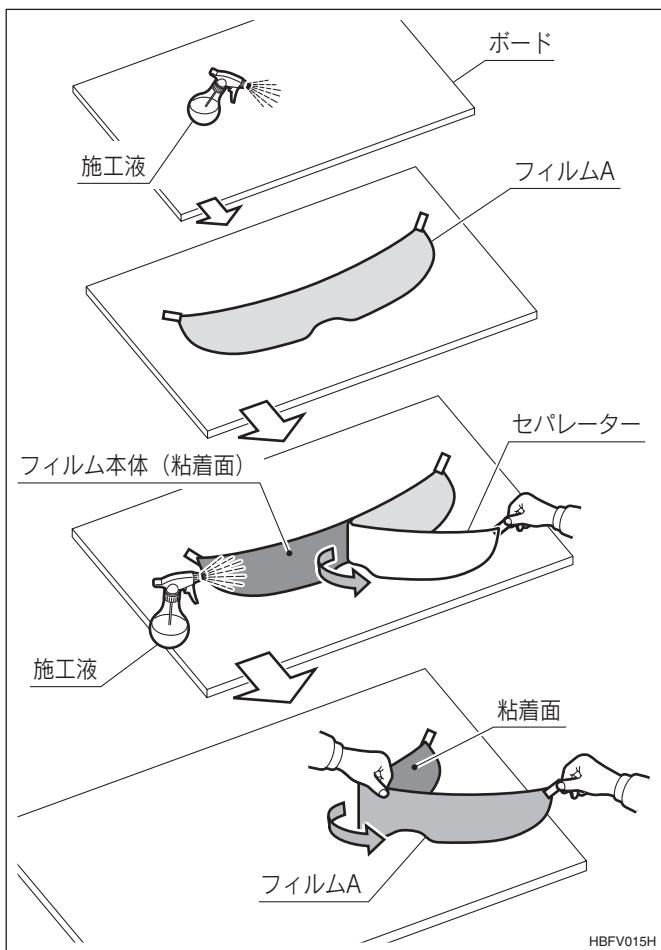




5. マスキングテープを持って、粘着面にたっぷり施工液をスプレーしながら、フィルム A からセパレーターを剥がす。

☞ **アドバイス**

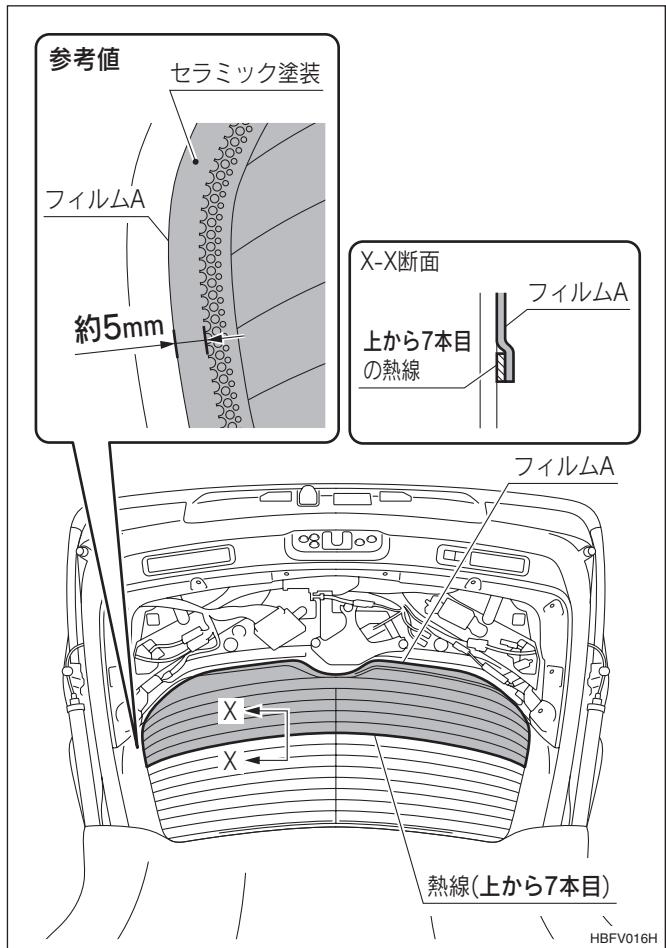
- (1) 本体側とセパレーター側を間違えないようにしてください。
- (2) バックドアガラス及びフィルム粘着面に、施工液をたっぷりスプレーするとフィルムがすべりやすくなり、位置決めが容易になります。



☞ **アドバイス**

以下の手順でフィルムとセパレーターを剥がすと作業を容易に行うことができます。

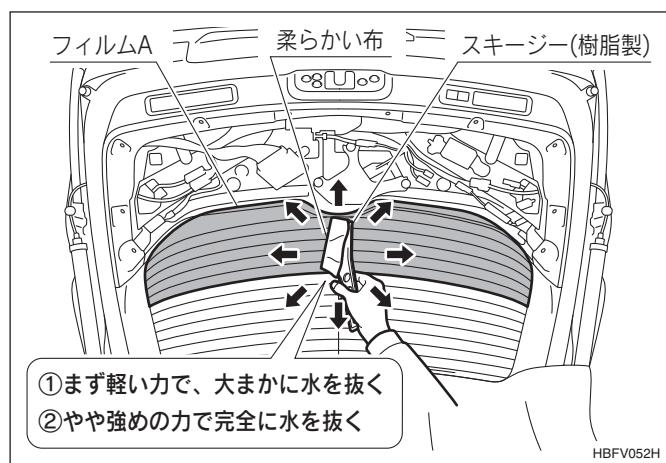
- (1) ホワイトボードまたは机やガラス等、汚れる恐れのない平面をバックドア近くに準備します。
- (2) 平面部をきれいに清掃後、施工液をスプレーし、フィルム A の本体側を平面部に貼り付けます。
- (3) マスキングテープを持って、粘着面にたっぷり施工液をスプレーしながら、貼り付けてあるフィルム A からセパレーターを全て剥がします。
- (4) フィルム A の上端側の一方を片手で持ち、フィルム A を平面から剥がしながら粘着面が自分の体と反対側になるように、両手で上端両サイドを持ちます。
- (5) フィルム A の粘着面をバックドアガラスに取り付けます。



6. 左図 X-X 断面に従い、フィルム A の下端を **上から 7 本目** の熱線下端部に合わせ、バックドアガラスに左右均等に取り付ける。

☞ **アドバイス**

図中の参考値は、あくまでも目安です。
フィルム A の下端が、**上から 7 本目** の熱線下端部に合うことを優先してください。



7. フィルム表面とスキージー（樹脂製）の両方に施工液をスプレーする。

☞ **アドバイス**

- (1) 施工液のスプレーにより、スキージーのすべりが良くなり、フィルムに傷が付きにくくなります。
- (2) スキージーに布（ナイロン系）を巻くとすべりが良くなります。

8. フィルムの中心部から放射線状に、スキージー（樹脂製）で**軽く**フィルムとガラス間の水及び気泡を外に押し出す。

☞ **アドバイス**

最初はフィルムがずれないよう、力を加減してください。

9. ゴミ・ホコリの混入が無いことを確認する。
万一混入していた場合は、その部分まで施工液を吹き付けながらフィルムをゆっくり剥がし、異物を除去した後に再度取り付ける。
10. フィルム A の左右と上端がセラミック塗装と重なっていること、及びフィルム A の下端が**7 本目**の熱線下端部に合っていることを確認する。

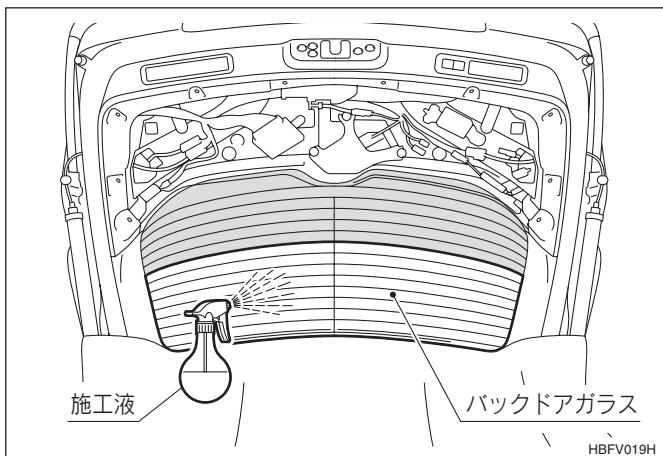
☞ **アドバイス**

フィルム A が左右均等であることを、スケール等で確認してください。

11. スキージー（樹脂製）に吸水性の柔らかい布またはペーパーウエスを巻く。
12. フィルムの中心部から放射線状に、スキージー（樹脂製）で**やや強め**にフィルムとガラス間の水分を外に押し出し、完全に取り除く。

☞ **アドバイス**

フィルムがずれないよう、作業をしてください。

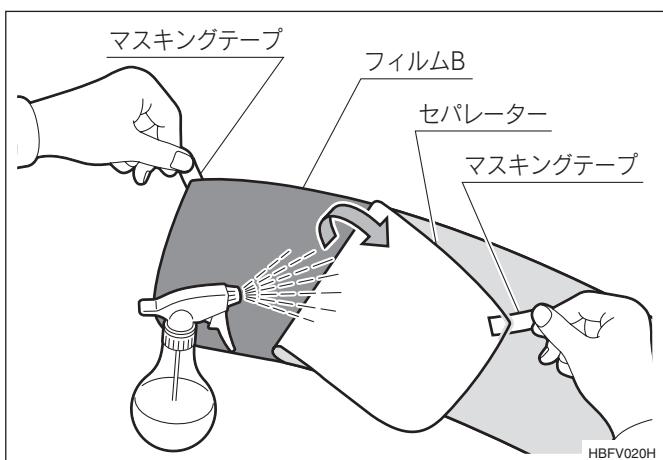


13. 取り付けたフィルム A より下のバックドアガラス
室内側全面に施工液をたっぷりスプレーし、ガラスを
清掃する。

👉 **アドバイス**

フィルム内側への混入を防ぐ為に、ゴミやホコリを
完全に除去してください。

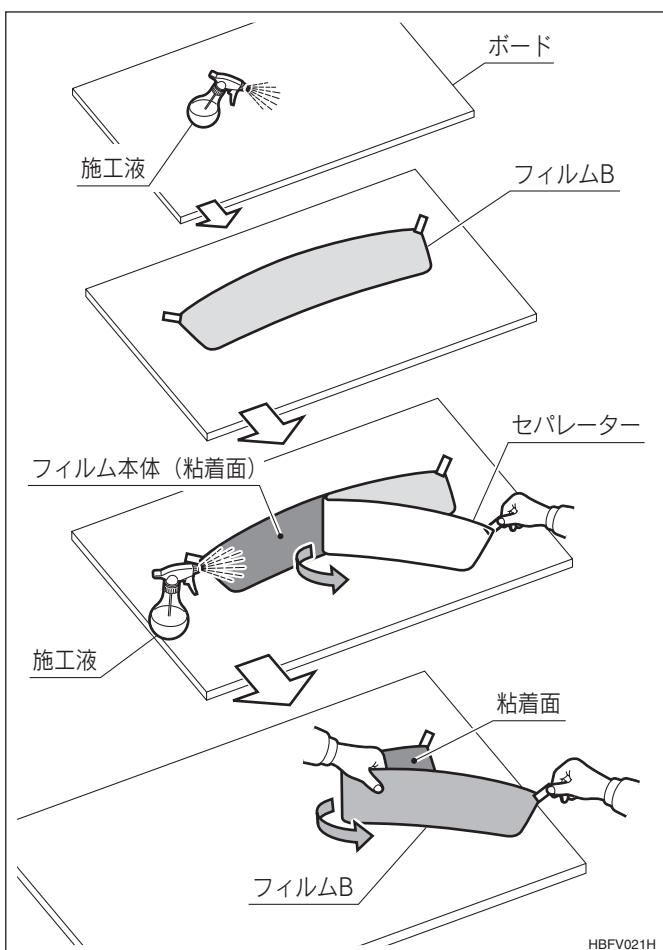
14. フィルム A より下のバックドアガラス室内側全面に、
再度施工液をスプレーする。



15. マスキングテープを持って、粘着面にたっぷり施工液
をスプレーしながら、フィルム B からセパレーターを
剥がす。

👉 **アドバイス**

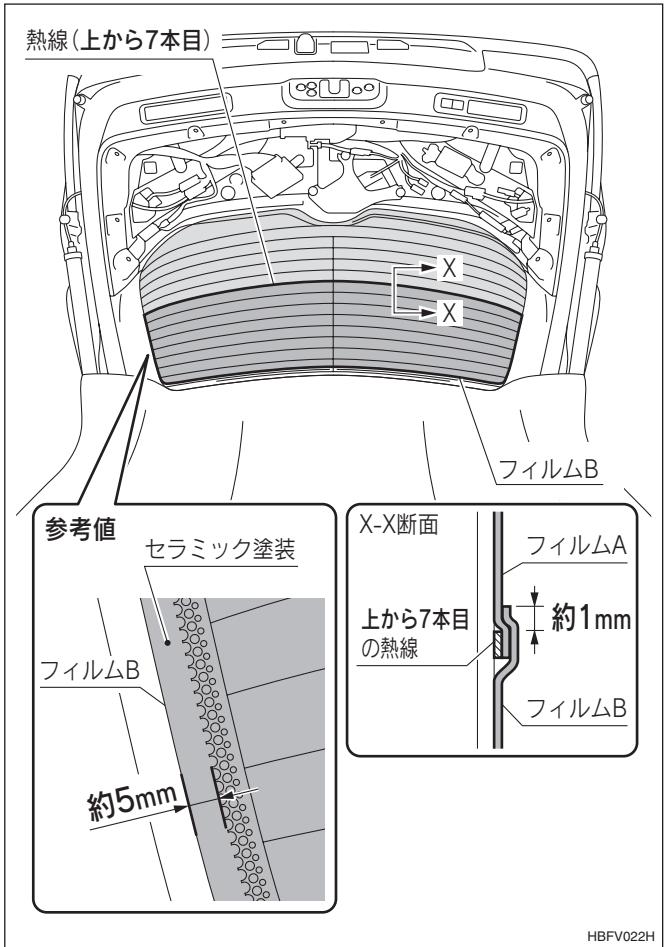
- (1) 本体側とセパレーター側を間違えないように
してください。
- (2) バックドアガラス及びフィルム粘着面に、
施工液をたっぷりスプレーするとフィルムが
すべりやすくなり、位置決めが容易になります。



👉 **アドバイス**

以下の手順でフィルムとセパレーターを剥がすと
作業を容易に行うことができます。

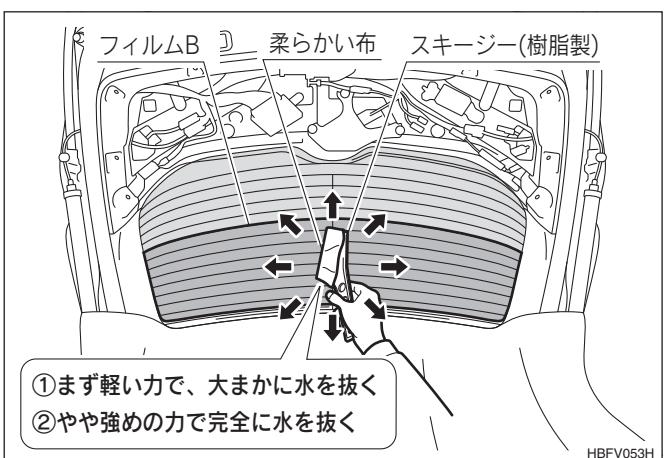
- (1) ホワイトボードまたは机やガラス等、汚れる
恐れのない平面をバックドア近くに準備します。
- (2) 平面部をきれいに清掃後、施工液をスプレーし、
フィルム B の本体側を平面部に貼り付けます。
- (3) マスキングテープを持って、粘着面にたっぷり
施工液をスプレーしながら、貼り付けてある
フィルム B からセパレーターを全て剥がします。
- (4) フィルム B の上端側の一方を片手で持ち、
フィルム B を平面から剥がしながら粘着面が
自分の体と反対側になるように、両手で上端
両サイドを持ちます。
- (5) フィルム B の粘着面をバックドアガラスに
取り付けます。



16. 左図 X-X 断面に従い、上から 7 本目の熱線上端部からフィルム A と B が約 1mm ラップするよう、左右均等に取り付ける。

👉 アドバイス

図中の参考値は、あくまでも目安です。
フィルム A とフィルム B をラップさせることを優先してください。



17. フィルム表面とスキージー（樹脂製）の両方に施工液をスプレーする。
- 👉 アドバイス
- 施工液のスプレーにより、スキージーのすべりが良くなり、フィルムに傷が付きにくくなります。
 - スキージーに布（ナイロン系）を巻くとすべりが良くなります。

18. フィルムの中心部から放射線状に、スキージー（樹脂製）で軽くフィルムとガラス間の水及び気泡を外に押し出す。

👉 アドバイス

最初はフィルムがずれないよう、力を加減してください。

19. ゴミ・ホコリの混入が無いことを確認する。
万一混入していた場合は、その部分まで施工液を吹き付けながらフィルムをゆっくり剥がし、異物を除去した後に再度取り付ける。
20. フィルム B の左右と下端がセラミック塗装と重なっていること、及び上から 7 本目の熱線上端部より上にフィルム A と約 1mm ラップしていることを確認する。

👉 アドバイス

フィルム B が左右均等であることを、スケール等で確認してください。

21. スキージー（樹脂製）に吸水性の柔らかい布またはペーパーウエスを巻く。
22. フィルムの中心部から放射線状に、スキージー（樹脂製）でやや強めにフィルムとガラス間の水分を外に押し出し、完全に取り除く。

👉 アドバイス

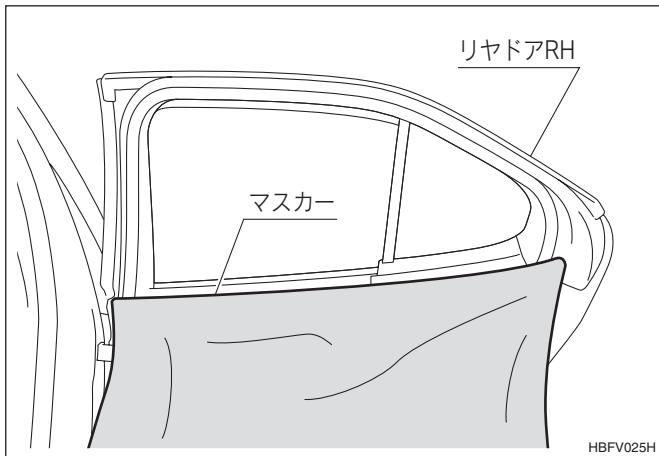
フィルムがずれないよう、作業をしてください。

23. バックドアを閉めた際に、施工液が電子機器やコネクターに垂れないよう、周囲の施工液を柔らかい布等で拭き取る。

⚠ 注意

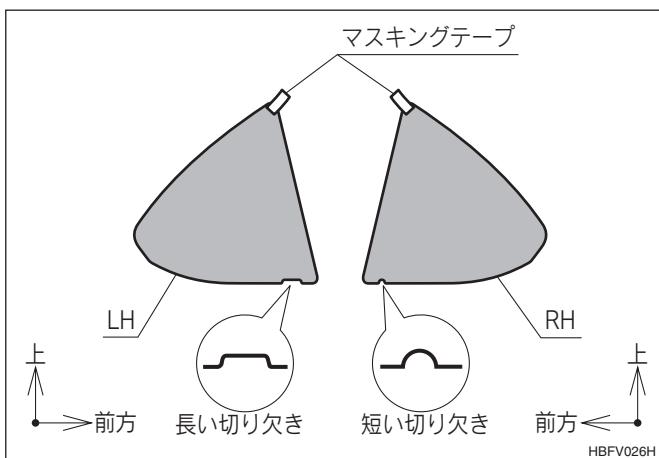
施工液が電子機器に付着すると機器の破損に繋がります。

24. 作業終了後、バックドアに貼り付けたマスカーを取りはずす。



リヤドアウンドウフィルムの貼り付け前の準備
(図はRH側を示す。LH側も同様に作業してください。)

施工液がリヤドアRH内部に垂れるのを防ぐ為に、マスカーラ等でリヤドアRHを覆う。



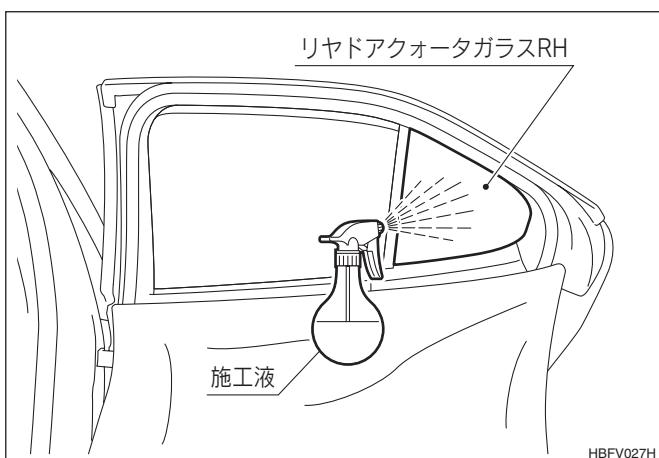
リヤドアウンドウフィルム(小)の取り付け
(図はRH側を示す。LH側も同様に作業してください。)

1. リヤドアウンドウフィルム(小)のLH用とRH用を区別する。

☞ **アドバイス**

短い切り欠きがあるRH用から取り付けます。

2. フィルム角部の表裏両面にマスキングテープを貼り付ける。

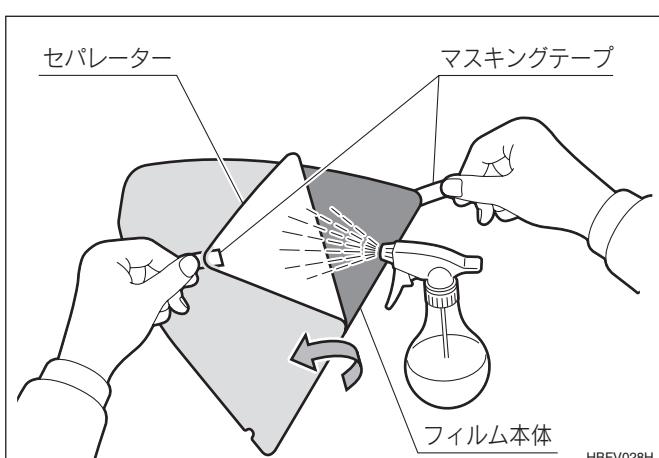


3. リヤドアクォータガラスRH室内側全面に施工液をたっぷりスプレーし、ガラスを清掃する。

☞ **アドバイス**

フィルム内側への混入を防ぐ為に、ゴミやホコリを完全に除去してください。

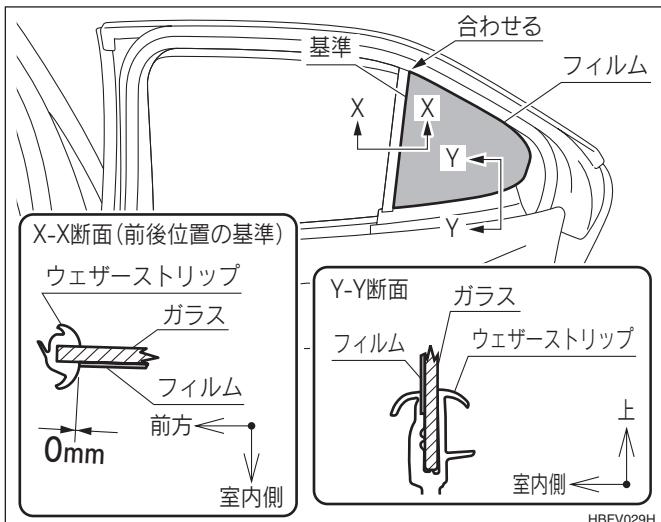
4. リヤドアクォータガラスRH室内側全面に、再度施工液をスプレーする。



5. マスキングテープを持って、粘着面にたっぷり施工液をスプレーしながら、フィルムからセパレーターを剥がす。

☞ **アドバイス**

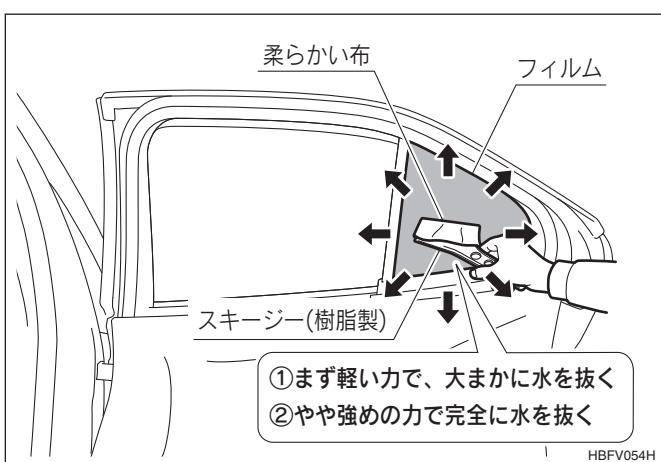
- (1) 本体側とセパレーター側を間違えないようにしてください。
- (2) リヤドアクォータガラスRH及びフィルム粘着面に、施工液をたっぷりスプレーするとフィルムがすべりやすくなり、位置決めが容易になります。



6. 前後の基準となるフィルム前端部（左図 X-X 断面）とウェザーストリップ端部との間隔を均等に **0mm** に保ち、フィルム前端角部をウェザーストリップ前方上端に接するまでスライドさせ、フィルム下端部（左図 Y-Y 断面）をウェザーストリップ内側に押し込んで取り付ける。

☞ **アドバイス**

- (1) 切り欠きがある方が、フィルムの下端になります。
- (2) フィルム上端及び後端にて、ウェザーストリップ端部との隙間が生じることがありますが、気泡や水抜きのための隙間ですので、問題ありません。



7. フィルム表面とスキージー（樹脂製）の両方に施工液をスプレーする。

☞ **アドバイス**

- (1) 施工液のスプレーにより、スキージーのすべりが良くなり、フィルムに傷が付きにくくなります。
- (2) スキージーに布（ナイロン系）を巻くとすべりが良くなります。

8. フィルムの中心部から放射線状に、スキージー（樹脂製）で**軽く**フィルムとガラス間の水及び気泡を外に押し出す。

☞ **アドバイス**

最初はフィルムがずれないよう、力を加減してください。

9. ゴミ・ホコリの混入が無いことを確認する。

万一混入していた場合は、その部分まで施工液を吹き付けながらフィルムをゆっくり剥がし、異物を除去した後に再度取り付ける。

10. スキージー（樹脂製）に吸水性の柔らかい布またはペーパーウエスを巻く。

11. フィルムの中心部から放射線状に、スキージー（樹脂製）で**やや強め**にフィルムとガラス間の水分を外に押し出し、完全に取り除く。

☞ **アドバイス**

フィルムがずれないよう、作業をしてください。

12. 同様に、リヤドアウンドウフィルム（小）LHを取り付ける。

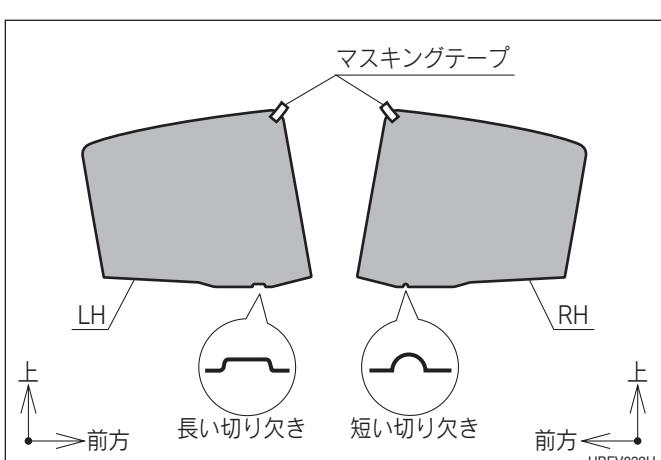
リヤドアウンドウフィルム（大）の取り付け
(図はRH側を示す。LH側も同様に作業してください。)

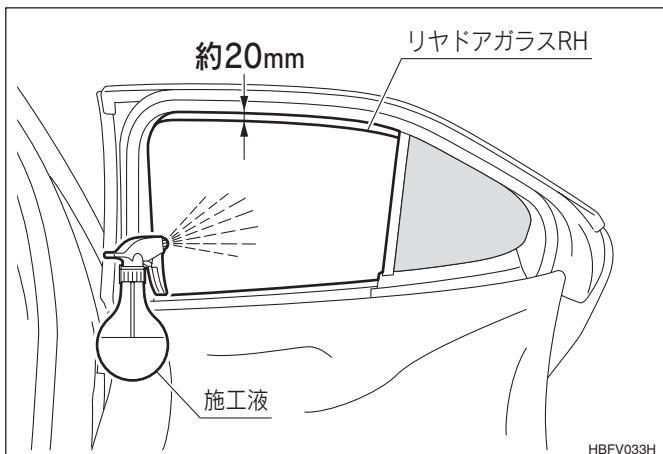
1. リヤドアウンドウフィルム（大）のLH用とRH用を区別する。

☞ **アドバイス**

短い切り欠きがあるRH用から取り付けます。

2. フィルム角部の表裏両面にマスキングテープを貼り付ける。





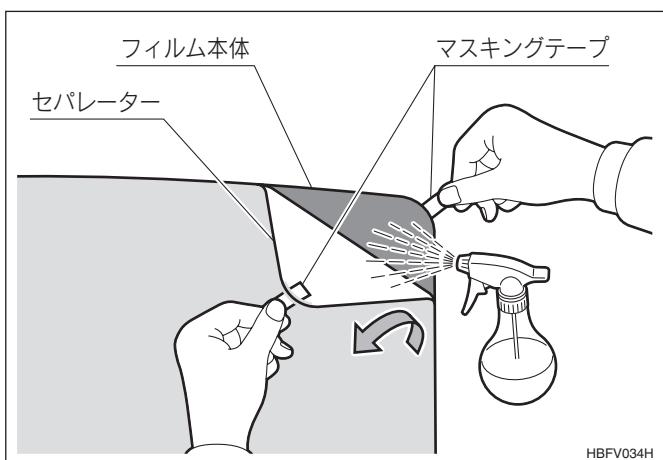
3. リヤドアガラス RH が約 20mm 下がっていることを確認する。

4. リヤドアガラス RH 表裏両面に施工液をたっぷりスプレーし、ガラスを清掃する。

👉 アドバイス

フィルム内側への混入を防ぐ為に、ゴミやホコリを完全に除去してください。

5. リヤドアガラス RH 室内側全面に、再度施工液をスプレーする。

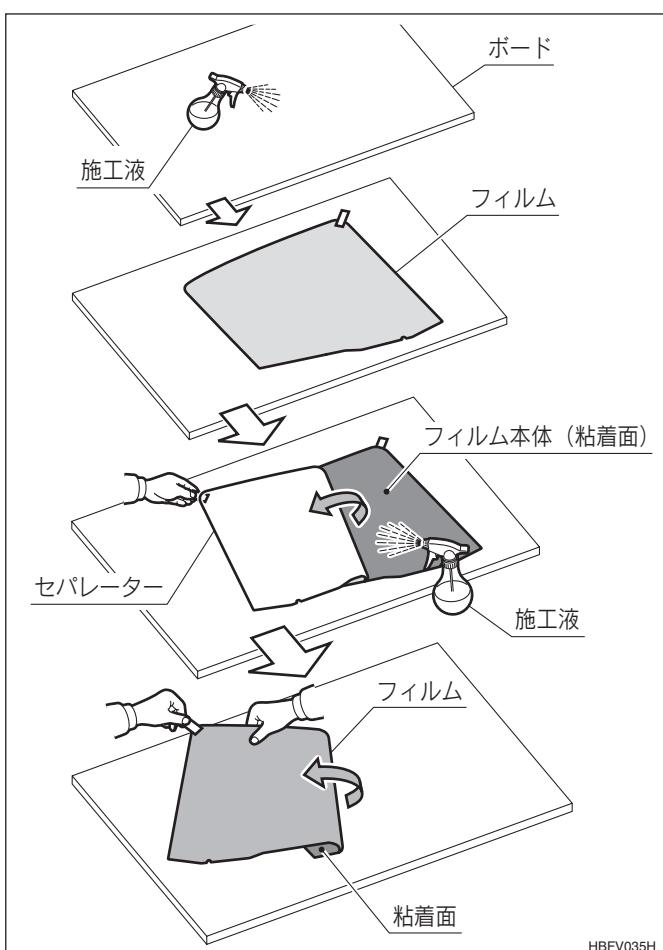


6. マスキングテープを持って、粘着面にたっぷり施工液をスプレーしながら、フィルムからセパレーターを剥がす。

👉 アドバイス

(1) 本体側とセパレーター側を間違えないようにしてください。

(2) リヤドアガラス RH 及びフィルム粘着面に、施工液をたっぷりスプレーするとフィルムがすべりやすくなり、位置決めが容易になります。



👉 アドバイス

以下の手順でフィルムとセパレーターを剥がすと作業を容易に行うことができます。

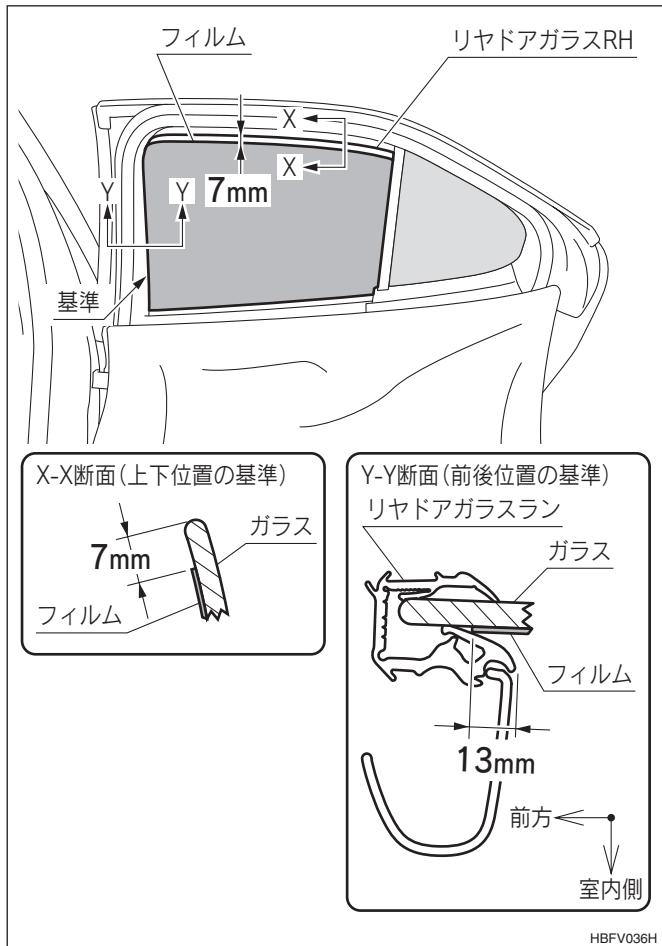
(1) ホワイトボードまたは机やガラス等、汚れる恐れのない平面をバックドア近くに準備します。

(2) 平面部をきれいに清掃後、施工液をスプレーし、リヤドアウンドウフィルム (大) RH の本体側を平面部に貼り付けます。

(3) マスキングテープを持って、粘着面にたっぷり施工液をスプレーしながら、貼り付けてあるフィルムからセパレーターを全て剥がします。

(4) リヤドアウンドウフィルム (大) RH の上端側の一方を片手で持ち、フィルム本体を平面から剥がしながら粘着面が自分の体と反対側になるように、両手で上端両サイドを持ちます。

(5) リヤドアウンドウフィルム (大) RH の粘着面をリヤドアガラス RH に取り付けます。



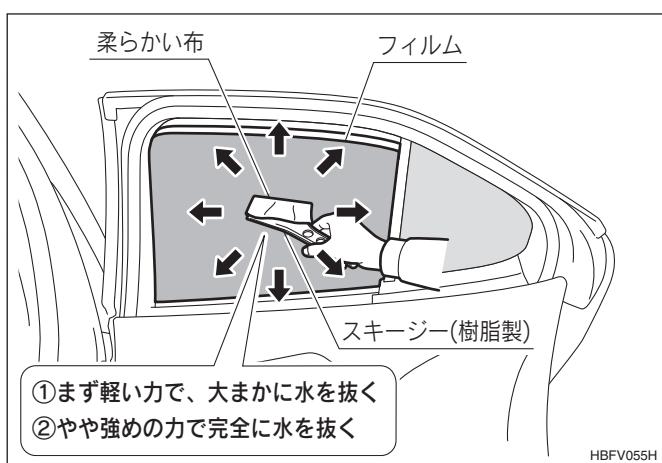
アドバイス

あらかじめ、ガラス外側から **7mm** の位置にマスキングテープで位置出しをしておくと、フィルムを容易に貼ることができます。

- ガラス上端からフィルム上端が均等に **7mm** (左図 X-X 断面) の位置になるように取り付ける。
- ガラス上端とフィルム上端の間隔を **7mm** に保ったまま、フィルム前端を左図 Y-Y 断面に従い調整する。

アドバイス

- 切り欠きがある方が、フィルムの下端になります。
- ガラス以外の部分にフィルム本体が触れないように取り付けてください。



- フィルム表面とスキー (樹脂製) の両方に施工液をスプレーする。

アドバイス

- 施工液のスプレーにより、スキーのすべりが良くなり、フィルムに傷が付きにくくなります。
- スキーに布 (ナイロン系) を巻くとすべりが良くなります。

- フィルムの中心部から放射線状に、スキー (樹脂製) で**軽く**フィルムとガラス間の水及び気泡を外に押し出す。

アドバイス

最初はフィルムがずれないよう、力を加減してください。

- ゴミ・ホコリの混入が無いことを確認する。万一混入していた場合は、その部分まで施工液を吹き付けながらフィルムをゆっくり剥がし、異物を除去した後に再度取り付ける。

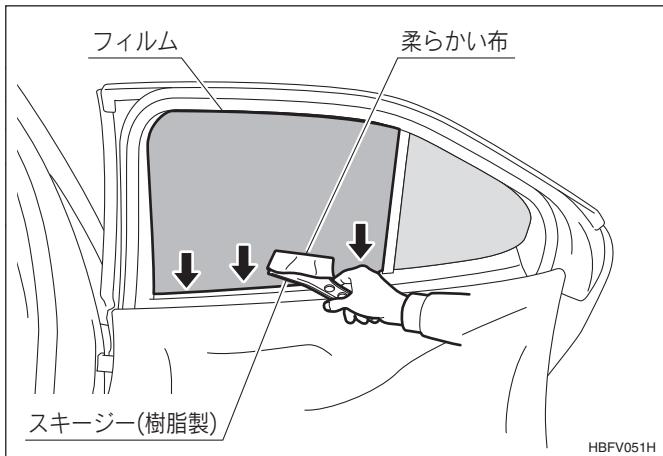
- フィルム上端がガラス上端から **7mm** 空いていること、フィルム前端がリヤドアガラスラン前端に **13mm** 入り込んでいることを確認する。

- スキー (樹脂製) に吸水性の柔らかい布またはペーパーウエスを巻く。

- フィルムの中心部から放射線状に、スキー (樹脂製) で**やや強め**にフィルムとガラス間の水分を外に押し出し、完全に取り除く。

アドバイス

フィルムがずれないよう、作業をしてください。



15. バッテリーの（-）側ケーブルを取り付ける。
16. リヤドアガラス RH を一番上まで上げる。
17. バッテリーの（-）側ケーブルをはずす。
18. スキー (樹脂製) でフィルムとガラス間の水分を外に押し出した後に柔らかい布で吸い取る。
19. 作業終了後、リヤドア RH に貼り付けたマスカーを取りはずす。
20. 同様に、リヤドアウインドウフィルム (大) LH を取り付ける。

復元作業

- ・取りはずした車両部品を下記の点に注意し、前述の手順に従って、元通りに復元してください。
- ・付着した施工液をふき取ってください。

△ 注意

- (1) 復元作業は、車両部品の損傷や、車両ハーネスの噛み込みに充分注意してください。
- (2) フィルムのズレ防止の為、フィルム貼り付け後 20 分程度は、ドアガラスの昇降を避けてください。

バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。
車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。

※車両システムの初期化には、GTS等のツールが必要な場合があります。

取り付け完了後の確認

取り付けの確認

1. 取り付けに異常がないことを確認してください。
2. 取り付けの際、車両に傷を付けていないことを確認してください。
3. ドアロック、パワーウィンドウ（各ドア）が正常に作動することを確認してください。